



北海道医歌人会詠草

夕焼け

江別 三宅 浩次

夕焼けの空は何故に懐かしの幼き日々^にわれ引き戻す
夕焼けの赤と黒との印象は心の奥にわが母の声
わらべ歌夕焼け小焼^けを作詞した百年前に中村雨紅
西の空は明日も天気と報せるか今日一日も元気に終えて
同じ空は在り得ないと教えられ今日の夕焼け明日は見られぬ

つんぼの旅

札幌 古屋 統

語学力乏しき我れの子のガイド十二ヶ国を旅まくらす
道すがら拙き歌など数多詠む纏めねば怠けの叱り受けなむ
カナダ側の眺めが良しと教えられ出入口手続き簡素に済む
(平成6年9月ナイアガラの滝)
オーデンセアンデルセンの記念館札幌真駒内市民のメモを残せる
ロンドンの日本料理のレストラン残せしメモは如何なれるや

クズ

札幌 浜島 泉

バス停に乗る人ぞなき夏休み 夜来^にの雨にクズの花散る
日よけなきバス停留所ま昼どき 木陰を求むニセアカシアの
アリ同士出会ひがしらに歩を止めて 「暑いね」などと挨拶せしか
土用丑ウナギに替へてサンマ食ひ 不漁と言はず資源の保護と
四匹の犬を牽きゐて朝散歩 主^{あつと}の先へ歩みそろへて

初冬

釧路 兎玉 昌彦

農業は土づくりからと説く老翁ベテランの自負 哲学者のごと
書は肥やし 思索は心の土づくり我が島には何をか実る
武器弾薬 世界に輸出し戦争を支える国が説いてる平和
新聞もテレビも伝えぬ力学が実は歴史を動かしている
大地譲る防風林の黒き影夕陽を呑みて眠りに就かむか

初秋

旭川 稲積 文子

風に舞い しがみついでる黄色き葉 生き抜く姿は人間も樹も
新緑と 思ひし筈が実が成って 葉も色づきて 我が目疑う
年令のいたづら故かわかり合ふ 言葉少なきソファアの二人
昨年は 沢山採れた梅の実が 何故か今年は一個だになし
旅行する意見はすぐにまとまりて 一緒に行こう旅行会社に

医歌人会では、皆様からの新規入会・投稿を募集しております。
詳細は、本号62ページ『北海道医歌人会』へのご加入のお願い をご覧ください。
詠草編集幹事 古屋 統